

サンポート高松について

お許しをいただきまして、一般質問をさせていただきます。これまでの質問と一部重複する点もありますが、ご了承いただきたいと思います。

最初にサンポート高松に関連する質問をいたします。サンポート高松の一部が5月13日完成いたしました。これからの高松市の中核施設として、期待と注目が寄せられています。オープン前後の賑わいは大変なもので、私も高松駅で昼食をとるのに1時間以上待たされました。また、各所で開催されていたイベントもサンポート高松を見学に来た市民には、ひとつの魅力であったように思います。このサンポート高松は本市発展の救世主として、また、大切な観光資源として注目されてきました。オープンから一月余りが経過した現在、あのころの賑わいはどっかに行ってしまい、逆に設計段階では予想のつかなかった多くの問題が起こっています。そこで、私が感じたこと、市民の方からいただいた意見を紹介し、市長のご所見をお聞きしたいと思います。

まず、玉藻公園での催し物についてお尋ねいたします。新しいホテルや、駅前広場から東を見ると高松が誇る、玉藻公園が素晴らしいコントラストをかもし出しています。そこで、私は玉藻公園で夜の催しを考えてみてはどうかと思っています。例えば、西門の脇でタイムツを焚くと、夜のサンポートに玉藻公園が浮かび上がります。そして、公園内で郷土芸能を催したり、歌舞伎を演じたりするのです。出店を誘致してもいいと思います。ホテルに宿泊した人や市民が、夜の玉藻公園を散策するのもサンポートの魅力になると思います。玉藻公園での催し物をするることによる効果についてのご所見と、実施の可能性についてお聞かせください。

次に、フェリー乗り場におけるタクシー利用についてお尋ねいたします。小豆島、直島からのフェリーが到着する埠頭から、旅客船乗り場のところにあるタクシー乗り場まで、相当距離があり不便であるとの声が聞こえてきます。特に高松市内の病院に通う高齢者にとっては、相当の負担になっているようです。まさに、弱者に対する配慮に欠けた施設の代名詞みたいなものです。私は先日実際に歩いて見ましたが、おっしゃるとおりだと感じました。この実態についてどのように把握しているのかお聞かせいただくとともに、今後の対応についてお聞かせください。

次に、港湾の旅客ターミナルビルの実態についてお尋ねいたします。このビルは県の施設ではありますが、利用度が多いのは本市市民であります。オープン前の内覧会に参加した時の説明では、ビル1階で切符を買い、2階待合室で出発を待ち、2階通路を通過して乗り場に誘導するとの事でした。しかし、先日、私が実態を調査したところによりますと、この導線で乗船場に向かう人は稀で、2階の待合室はカンコウ鳥が鳴いていました。花火を見るために作ったのかと

悪口を言う人もいます。設計ミスか、周知ミスか、このままでは2階のショップも間もなく閉店しなければならなくなると思います。多額の血税を投入した施設です。現状について市長のご所見と、県の施設ではありますが、今後の対応についてどのようにお考えかお聞かせください。

次に全日空ホテルクレメント高松から浜ノ町への道路についてお尋ねいたします。この道路はシーサイドボールから全日空ホテルクレメント高松に至る、新しい道路ですが今後、交通量が増加するのではないかと考えられます。しかし、東向きについては問題ありませんが、西向きについてはガードの下を潜って抜ける必要があります。低いガードを潜る車両についても制限がありますし、ストレートにさぬき浜街道に出ることは出来ません。この状況は当初から予測できたと思いますが、今後の道路整備についてどのようにお考えか、ご所見をお聞かせください。

次にストリートネームの制定についてお尋ねいたします。先日、イタリアのコモ湖を訪れる機会がありました。コモの町は新潟県の十日市町と姉妹都市の縁組をしているそうです。そして町には十日市通りという通りがあります。本年はセントピーターズバーグと縁組をして40周年、市民訪問団など、数々の企画が予定されています。そこで提案ですが、サンポート高松には多くの新しい道が出来ています。新しい通りに姉妹友好都市の名前をつけてみてはいかがでしょうか。サンポート高松の道路に限る必要は無いと思いますが、セントピーターズバーグ通り、南昌通り、水戸通り、彦根通り、矢島通りなどです。市長のご所見をお聞かせください。

次代を担う日本人教育について

次に、次代をになう日本人教育について、お尋ねいたします。1月に行われた本市成人式の事件は全国的に注目を集め、今でも日本国中が来年の本市の成人式を注目しています。この事件が成人式のあり方だけでなく、戦後の日本の教育について問いかけられていると感じているのは私だけではないと思います。私はこれまでのPTA活動の中で、クラッカーや飲酒ではありませんでしたが、これとよく似た光景を目にしたことがあります。彼らはこのような場所で今回のような行動をとることが少年時代から容認されてきたように思われてなりません。共同生活、団体生活におけるマナーやルールについての教育に問題は無かったのでしょうか。子供の人権、子供の権利ばかりが前にでて、社会の中で最低限守るべきルール、共に力をあわせて住みよい社会を作っていこうとするボランティア精神など、人間としての常識教育が十分でなかったような気がします。成人式の経験を通して、これまでの教育の問題点と、今後どのように教育の中に反映させていくのか、教育長のご所見と決意をお聞かせください。教育は家庭と学校そして地域の連携が必要というのは言い古された言葉のよう

にも思いますが、まさにその通りであります。その中でも地域の教育力に期待するものはますます増大しています。特に縦割りでの団体生活や、前にも述べたマナーやルールを学ぶ場として、地域でのPTA活動、子ども会活動、スポーツ少年団活動などは、今後もっと重要視すべきだと思っています。このような活動は自主性を大切にしたいという口実で、受益者負担で活動しているのが実態ですが、予算的な制約が大きく、思うような活動が出来ていないというのが実態であります。学校教育には大きな予算が使われていますが、社会教育、特に子供の社会活動を支える団体に対する予算は大変希薄です。そして、そこで活動している指導者はほとんどがボランティアで、社会的保証もほとんどありません。多少の税金を投入しても、その効果は十分期待できると思います。人間作りは国づくりです。もちろん受益者の負担は当然ですが、今後の予算措置も含め、指導者の資質向上策など、活動しやすい環境の整備について教育長のご所見をお聞かせください。

私は地域の運動会で同じ子供でありながら、対照的な光景をいつも目にします。それは、小学校主催の運動会と地区の運動会では子供の態度がまったく違うのです。言い換えれば先生の管理下にある時と無い時の比較です。それは仕方ないと言われるかもしれませんが。しかし私はそんな問題ではないように思っています。特に国歌の斉唱と共に国旗の掲揚をしている時の態度は、まったく違います。学校の運動会ではきちんとできる子供が、地区の運動会になるとあっち向きこっち向き、国歌を聞きもしないし、歌いもしないのです。私はいろいろな国の方と接する機会の多い人間だと思っています。どの国に行っても自分の国、そして国旗、国歌は誇りに思っていますし、大切にしています。今まで騒いでいた若者が、国歌を聞いたとたんに立ち上がり、胸に手を当てる光景を何度も見たことがあります。私はいろいろな国を見てきましたが、日本ほど安全で住みよい国はないと思います。また、そんな日本を誇りだと思っています。私は教育の中でもっと私たちの日本は、高松は、そして自分の住んでいる町は素晴らしい町なのだ、とすることを子供たちに教えるべきだと思っています。社会に対する批判ばかり聞こえてくる子供たちに、誇りを持つと言うのは無理なのでしょうか。そこでお尋ねいたします。学校において、自分の国、自分の町に誇りを持ち、愛することの出来る人間作りのための教育はどのように行われているのですか。実態と効果、今後の方策について教育長のご所見をお聞かせください。

私は、かつて地元の青年会に所属し活発に活動をしていました。皆で手作りの大きな鶴の纏を作り、高松祭りに繰り出したこともあります。成人式で後輩の成人を祝うため、郷土芸能で盛り上げたこともあります。あのころを振り返ってみて、青年のパワーをもっと引き出してやれる環境作りが必要ではないかと

思います。現在は地域の中で婦人会や老人会の活動は活発に行われていますが、青年層の活動は皆無に等しいのではないのでしょうか。地域の中で共に地域のことについて考える、青年組織の育成が必要な気がします。それが将来の高松市のパワーになると思います。教育長のご所見をお聞かせください。

また、新しい成人式は本市主催で実施するのはけっこうですが、実施に当たっては新成人だけでなく各種青年団体の協力を得て、若い世代全体で作っていくべきだと私は思っています。成人式の企画、当日の受付、運営、誘導、場内警備に至るまで青年たちの力でやるべきです。彼らはやる力を持っていると思います。その力を引き出してやるのが私たちの役目だと思います。教育長のご所見をお聞かせください。

学校、公共施設における高速インターネット接続について

次に、公共施設における高速インターネット接続についてお尋ねいたします。政府の高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部による E-Japan 重点計画概要の基本的な方針（１）によると、５年以内に世界最先端の IT 国家を目指し、少なくとも 3000 万世帯が高速インターネット網に、1000 万世帯が超高速インターネット網に常時接続できる環境を整備するとあります。今後予定されている高度な情報伝達を行うためには、超高速のインターネット網に接続できる環境の整備が不可欠なのです。ただ単に、インターネットに接続できますよという環境では不十分な時代になってきています。そこでお尋ねいたします。今後予測される高速インターネット時代の市民サービスはどのようなものが考えられますか具体的にお示しください。またこのサービスを実現するための課題と今後の計画をお聞かせいただくと共に、学校、公共施設における高速インターネット接続環境整備完了の目標年次をお聞かせください。

以上で私の一般質問を終わらせていただきます。ご清聴まことに有難うございました。